

班活 染谷生の活躍

昨秋からいくつかの班が大会やコンテストに出場した。その大会、コンテストを終えて感想や今後の目標について聞いた。

放送班

— 今大会の感想は

私たちが放送班は、昨年11月に「TSB杯長野県高等学校新人放送コンテスト」に出場しました。この大会は三年生が引退して初めての大会でした。今までの成果を出せた班員もいましたが、多くの班員にとっては悔しい大会でした。特に周りのレベルの差や自分の伝えたいことを相手に伝えるという難しさを感じました。しかし、次の大会に向けた「自分たちを成長させる大会」でもありました。



（清水 愛生）

軽音楽班

— 今大会の感想は

Euphoric Albumは今年、東信大会、県大会、そして名古屋でおこなわれた大会に出場させていただきました。すべての大会で最優秀賞を受賞することができました。大会のためには個人としての個性を十分に活かし、一人ひとりのレベルにあった演奏ができるように曲作りをしてきました。その結果がこれらの大会に出たのだと思います。大会で演奏した「Dart's Mer」という曲を完成させるまで、バンドメンバー全員でどんな曲に仕上げたいか話し合い、練習をできる限りたくさんしてきました。本番でも緊張せず、観客の方々もかなり盛り上がりつつありました。大会までの練習の成果、努力が実を結んだので本当に感謝しています。

- 班活 大会結果**
- 交通安全CMコンテスト グランプリ
 - TSB杯長野県高等学校新人放送コンテスト (朗読部門) 優秀賞→北信越へ (アナウンス部門) 優良賞→北信越、全国へ (ビデオメッセージ部門) 優良賞 (テレビフリー部門) 優良賞
 - 長野県高文連軽音楽専門部県フェスティバル Power Live2019 KF 【最優秀賞】 Euphoric Album
 - 中部地区高等学校軽音楽部対抗バンドバトル 2019冬の陣 【優勝】 Euphoric Album
 - 長野県アンサンブルコンテスト東信地区大会
 - 【金賞】 木管五重奏
 - 【金賞】 金管八重奏
 - 【金賞】 サクソフォン四重奏
 - 【銀賞】 打楽器三重奏
 - 長野県アンサンブルコンテスト長野県大会
 - 【銀賞】 サクソフォン四重奏
 - 【銀賞】 木管五重奏
 - 【銀賞】 金管八重奏
 - 中部日本個人・重奏コンテスト長野県大会
 - 【金賞】 フルート独奏
 - 【銀賞】 ソプラノサクソフォン独奏
 - 【銀賞】 木管三重奏
 - 冬季錬成会高等学校弓道大会 女子Aチーム 【準優勝】
 - 長野県高校選抜ソフトテニス大会 団体戦 【準優勝】

とることができました。大会のために個人の個性を十分に活かし、一人ひとりのレベルにあった演奏ができるように曲作りをしてきました。その結果がこれらの大会に出たのだと思います。大会で演奏した「Dart's Mer」という曲を完成させるまで、バンドメンバー全員でどんな曲に仕上げたいか話し合い、練習をできる限りたくさんしてきました。本番でも緊張せず、観客の方々もかなり盛り上がりつつありました。大会までの練習の成果、努力が実を結んだので本当に感謝しています。

仲間がいることのありがたさや支えてくれる方への感謝の気持ちを改めて感じ、演奏技術、行動ともにさらに高めていけるよう頑張っていきたいと思っています。



（豊田 貴人）

吹奏楽班

— 今大会の感想は

今年、吹奏はアンサンブルコンテスト県大会に3チームが出場することになりました。各チームごとに練習メニューを考え、話し合いや練習を積み重ねて得ることができた結果だと思えます。東海大会出場とはなりませんでしたが、見つけた課題に真剣に向き合う仲間刺激を受けながら、「音楽」についてじっくりと考えることができた冬になりました。同じ目標に向かう

仲間がいることのありがたさや支えてくれる方への感謝の気持ちを改めて感じ、演奏技術、行動ともにさらに高めていけるよう頑張っていきたいと思っています。



（齋間 美羽）

弓道班

— 今大会の感想は

私たちは1月19日に小諸市総合体育館でおこなわれた第三回冬季錬成高等学校弓道大会に参加しました。3人1チームで1人4本を2回おこないました。私たちのチームは二回戦目が終わった時点で24射中12中でした。そして2位3位決定戦では上田東、日大付属、屋代高校の四校で争い、苦闘の末、準優勝を勝ち取ることができました。今後の大会でも自分の納得のいく射をし、さらに良い結果を残せるよう日々考えながら稽古をしていきます。

— 次大会の目標は

個人競技と思われがちですが、私は団体こそが弓道における魅力だと思います。私たち二年生にとってはこれからどの大会も最後になります。その結果が悔やむものではなく、

みんな喜んでくれるものになるよう、日々の稽古に對し真剣に取り組んでいきます。



（依田 彩花）

男子ソフトテニス班

— 今大会の感想は

優勝しか狙っていません。たので本当に悔しいです。選抜の前におこなわれた新人戦で県優勝を果たしたことは自分たちにとって自信になりましたが、それと同時に今まで以上に相手に向かってこられる不安や焦りも出てきました。本番では初戦から苦しい試合が続き、決勝まで進んだものの負け

てしまいました。三年生が引退してから新チームとなり、今回が初の敗戦だったので悔しかったし、勝ち続ける難しさも知りました。残された時間を大切に、夏の総体ではこの悔しさを晴らせるよう頑張ります。

— 次大会の目標は

染谷は今、三大会連続で決勝戦に進んでいます。夏の高校総体では選抜での敗戦から学び、普段の練習から意識を変え、決勝戦の舞台まで勝ち続けたいです。そして勝ってインターハイに行き、全員が笑って終わるとともに先生に恩返しをしたいです。



（柳澤 海斗）

上田市長との対談

私たちは11月18日に上田市の土屋陽一市長とこれからの上田市について対談しました。まず、それぞれ自己紹介をしてから、市長から今の上田市について話を聞きました。その話の中で、上田市は外国人移住者が比較的に多いこと、製造業に重点を置いている市だということ、気になっていること、上田市にしたいこと、将来も上田市に住みたいかを順に発表していきま

「若者にとって魅力のある町にしてほしい」などの意見が挙げられました。対談をしていて、将来上田市から出ていきたいという意見も出ました。理由は若者の興味があるものが少ないなどがありました。この話を聞いて市長は、新しい体育館の設立などを考えていると話してくれました。また今、上田市に住んでいる人は「上田市が田舎みたいであまりいいところがない」と思いがちだが、逆に都会から来る人の中には「上田市が魅力的に感じられる」という人も多く話してくれました。私も住んでいる上田市のこれからについて貴重なお話を聞いて、とてもよい経験になりました。私は将来上田市に住むか分かりませんが、これからの上田市に對して自分の意見が言えて良かったです。

から来る人の中には「上田市が魅力的に感じられる」という人も多く話してくれました。私も住んでいる上田市のこれからについて貴重なお話を聞いて、とてもよい経験になりました。私は将来上田市に住むか分かりませんが、これからの上田市に對して自分の意見が言えて良かったです。



（石平 飛揚）

編集後記

今号では卒業、学友会活動、班活について取り上げました。新年度学友会スローガンに則り、新聞委員会では染谷の様々な活動に気づき、それを多くの生徒に知ってもらえるよう取材や新聞制作に努めています。

委員長 太田 歩里
今号は自分で記事を書いて、少し緊張しました。まだ拙く、読みづらい文章ではありますが、今後も精一杯努力していきます。卒業間際のお忙しい中、先生方からの贈る言葉、ありがとうございました。

副委員長 石平 飛揚